

平成29年告示の小学校学習指導要領では、外国語（活動）において領域別の目標が新たに明示され、「学年ごとの目標を適切に定め、2学年間を通じて外国語科（外国語活動）の目標の実現を図るようにすること」が示されました。また、「指導と評価の一体化」を図る授業を実現するためには、指導者が、日々の授業において、常に目標を意識ながら児童の学習改善につながる指導を行うことが重要であり、その第一歩は「学習到達目標」を明確に設定することです。

県内の全ての小学校において学習指導要領の目標達成に向けた外国語の授業を実現するため、今回、熊本県版「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標（例）を作成しました。ぜひ、自校化を図り、効果的な活用をお願いします。

## 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標とは？

「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から、能力や技能を「～することができる」という表記でリスト化したものです。各学校において、小学校卒業時及び各学年における学習到達目標を定め、それに基づいた指導を行うことにより、次のような効果が期待できます。

- 児童にどのような英語力が身に付くか、英語を使って何ができるようになるのかを明らかにすることができます。
- 授業のねらいが明確になり、児童への適切な指導を行うことができます。
- 「知識及び技能」の習得にとどまらない、総合的な資質・能力の習得を重視する指導につながります。
- 教師間で指導に当たっての共通理解を図り、均質な指導を行うことができます。

同じ目標に向かって



## 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標設定フローチャート

### ① 卒業時の学習到達目標設定【資料①】

児童の学習状況や地域の実態等を踏まえ、卒業時の学習到達目標を、「（英語を用いて）～することができる」という形で設定。学習指導要領の5つの領域別の目標を踏まえ、各学校の児童の状況に応じて設定する。

### ② 学年ごとの学習到達目標設定【資料①】

卒業時の学習到達目標を達成するための学年ごとの目的を「～することができる」の形で設定する。

### ③ 単元の指導計画への反映【資料②】

学年ごとの学習到達目標を年間指導計画等に位置付ける。

### ④ 各単元の指導及び評価計画への反映【学習構想案】

各学校で実際に行われる学習活動を基に、各単元の目標及び評価規準を設定。目標達成の状況を把握するための具体的な評価（基準）を計画する。

### ⑦ 学習到達目標の見直し

設定した卒業時及び学年ごとの学習到達目標が適切であったかを検討し、必要に応じて見直す。

### ⑥ 達成状況の把握【資料③】

各単元の学習到達目標や学年ごとの学習到達目標の達成状況を把握し、指導や評価の改善に生かす。

### ⑤ 授業と評価

単元の目標や評価規準を意識して授業を実施する。評価の計画に従い、児童の学習状況を的確に評価する。

## 「指導と評価の一体化」の実現に向けて効果的に活用する

### ☞ 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標を児童と共有する

自校の「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標や年間指導計画を、年度当初に児童に配付し、単元導入時に学習到達目標を確認したり、学習状況を振り返ったりする際に活用しましょう。

目標の達成状況を見える化することで、児童自身が英語の能力を客観的に捉えることができ、外国語学習への意欲や自信を高めることにつながります。

### ☞ 達成状況の把握と設定した学習到達目標の見直し

各単元や学年ごとの学習到達目標について、英語担当教員は児童の達成状況の把握を確実にし、必要に応じて指導改善につなげましょう。また、学年末には指導者全員で、学習到達目標が適切なものであったかを検討し、設定した目標の内容や難易度を見直しましょう。このPDCAサイクルを確立することが、指導と評価の一体化を図る授業の実現につながります。

### ☞ 小学校の学びを中学校につなぐために

小学校における子供たちの学びを中学校に円滑につなぐためには、小学校での学習内容等を中学校に具体的に伝えることが大切です。自校の「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標や年間指導計画を児童が進学する中学校の英語担当教員と共有してください。また、情報交換や交流授業を実施する際は、これらの資料を活用して授業づくりを行うことで、効果的な取組につながります。

目標達成!



# 自校の「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の作成・活用に向けて

各学校において児童の学習状況や地域の実態等を踏まえ、「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標を適切に設定します。県版資料を参考に、自校の学習到達目標を明確に設定し、目標達成に向けた授業実践をお願いします。

## 【資料①】熊本県版「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標(例)

小学校卒業時の学習到達目標				
聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
ア 多くははっきりと読めれば、自分のことや身近な話題で簡単な表現について、簡単な語や基本的な表現を理解することができる。	ア 読み取った文章を正確に、その読み方を発音することである。	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたが、それらに応じたりすることができる。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話すことができる。	ア 大文字、小文字を活字で書くことができる。また、音声で十分に練習した後に簡単な表現で自分の考えを表現することができる。
イ 多くははっきりと読めれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い文章の構成を捉えることができる。	イ 音声で十分に練習した後に簡単な語や基本的な表現を用いて、自分の考えや身近な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや身近な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理したり、自分の考えや身近な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、短文を参考に、音声を十分に練習した後に簡単な表現で自分の考えを表現することができる。
ウ 多くははっきりと読めれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い文章の構成を捉えることができる。	ウ 自分や相手のこと及び自分の周りの物に関する事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや身近な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	ウ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理したり、自分の考えや身近な事柄について、簡単な語や基本的な表現を用いて話せることができる。	ウ 大文字、小文字を活字で書くことができる。また、音声で十分に練習した後に簡単な表現で自分の考えを表現することができる。

### 「卒業時の学習到達目標」を設定する

児童の学習状況や地域の実態等を踏まえ、卒業時の学習到達目標を設定しましょう。卒業までに児童が身に付ける能力の全体像をイメージすることが大切です。熊本県版【資料①】では、学習指導要領の「5つの領域別目標」を踏まえて設定しています。

### 「学年ごとの学習到達目標」を設定する

卒業時の学習到達目標を達成するために、5年時または6年時に行けるようになることを、児童の発達段階を踏まえて設定しましょう。熊本県版では、特に「読むこと」「書くこと」については初めて学習することを踏まえ、学年の進行に応じた学習となることに留意して段階的な目標を設定しています。

資料の形式や例示している表記、内容等についてはこの限りではありません。これらの資料は、児童の実態等に応じて適切な学習到達目標を各学校で設定する際の参考にしてください。目標を明確にすることが、指導者の授業改善につながります。



## 「単元の(年間)指導計画」を作成する

学年ごとの学習到達目標を年間指導計画等に位置付けます。

熊本県版【資料②】では、各単元における目標、主な言語活動及び、5つの領域別の学習到達目標を1枚にまとめた年間指導計画を、以下の点に留意して作成しています。

## 【資料②】第6学年「CAN-DO リスト」形式による年間指導計画(例)

学年	単元	単元名	目標	言語活動	学習到達目標(CAN-DO リスト形式)					中学校との関連(東京書籍)
					聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	
4~5月	Unit 1 (8)	This is mail	新しい友達や先生と仲良くするために、名前や好きなもの、誕生日などについて話せることができる。	新しい友達や先生と仲良くするために、質問タイムをしよう。	自己紹介を聞き、その内容を整理すること。	名前や好きなものについて、簡単な表現で話せること。	名前や好きなものについて、簡単な表現で話せること。	名前や好きなものについて、簡単な表現で話せること。	1年 Unit 1	
5~6月	Unit 2 (8)	How is your school life?	世界の子どもたちや、友達のことを知りたい。日本の文化や生活について話せること。	お互いのことをよく知るとともに、質問タイムをしよう。	世界の国のことをよく知るとともに、行きたい国を話し、パーチャールを準備しよう。	自分の学校生活について、簡単な表現で話せること。	自分の学校生活について、簡単な表現で話せること。	自分の学校生活について、簡単な表現で話せること。	1年 Unit 1 1年 Unit 3 2年 Unit 7	
6~7月	Unit 3 (8)	Let's go to Italy.	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
7月	Check Your Stage 1 (2)	外国の人にメッセージを送ろう	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	旅行の計画を立てたり、旅行の理由を書き写したり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
9~10月	Unit 4 (8)	Summer Vacation in the World	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
10~11月	Unit 5 (8)	My Best Memory	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
11~12月	Check Your Stage 2 (2)	世界と自分のつながりを紹介しよう	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
12月	Unit 7 (8)	My Best Memory	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	友達や先生に夏休みの思い出を伝えるために、旅行の計画を立てたり話せること。	1年 Unit 5 1年 Unit 10	
1年を通して	活字体(アルファベット)								1年 Unit 0	

領域別の学習到達目標の設定について、次の点に留意して設定しています  
 ①各単元の目標を踏まえて、焦点化すること  
 ②1年間を通して、5領域全ての学習到達目標を網羅すること  
 ③前期(4~9月)後期(10月~3月)で、各領域複数回の学習到達目標を位置付けること(ただし、5年前半は「読むこと」「書くこと」は位置付けない)

各単元の「目標」及び「言語活動」は、コミュニケーションの目的や場面、状況等(「~するために」)を明確にした事例を具体的に示しています

各単元の言語材料や学習内容等について、中学校の使用教科書との関連を示しています。(中学校で使用する教科書を確認して作成ください)

活字体(アルファベット)については、単元の中には含めず、別枠で目標等を設定しています

児童と共有し、学習到達目標の達成状況を記入する(◎、○など)ための欄を設けています。